

港北区地域子育て支援拠点どろっぴは、主に0歳から就学前の子ども・妊婦とご家族、地域で子育てを応援している方のための施設です。

<https://www.kohoku-drop.jp/> Check our website for the schedule in English

開館日時：火曜日～土曜日（隔月1回日曜開館あり）9:30～16:00 祝日・年末年始・特別休館日あり



～子どもがまんなか、みんなで子育て～

各プログラムの詳細は
HPでご確認ください



助産師と みんなの知恵袋

母乳・ミルク・離乳食
などはもちろんのこと、
産後の体調のことなど
を助産師さんとみんな
で話しましょう。

横浜子育てパートナー

子育て中の家庭、妊娠中の方が子育ての
情報を知りたい時、悩みを抱えている時など、
気持ちに寄り添いながら、必要な情報提供を
したり、適切な支援機関を紹介します。
皆さんが足を運びやすい場所でお会い出来たら
と思い、商業施設や子育てサロンのご協力を
いただき、出張相談会も毎月開催しています。
スケジュールは、どろっぴHPやInstagram、
ココアプリでチェックしてくださいね♪

横浜子育てパートナー専用電話番号
火曜～土曜 9:30～16:00
（匿名の電話相談も可）
大倉山:045-547-1180
綱島:045-547-1182

あつぱつぱ

初めての子育てがスタートしたばかりの
「自分」と赤ちゃんのためのプログラム。
ゆったりとした時間を過ごせます。
どろっぴ以外に、公立保育園でも開催しています。

新横浜出張ひろば りぼん

0歳から就学前の親子・妊婦さん
とご家族が、あそんだり、
おしゃべりしたり、交流できる場です。

～会場～
*ダッドウェイラーニングセンター
新横浜
*オルタナティブ生活館 5階
「とびはね」
（会場によって開催日時
が異なります）

ふたごちゃん みつごちゃんの会

多胎児家庭のための
プログラム。
親子でのんびり過ごし
ながらおしゃべりを
しましょう。

どろっぴ

父親とお子さんで
集まってゆる～く話す
場です。
初めての方も是非！

土曜日両親教室

赤ちゃんを囲みみんなで
準備を始めませんか？
参加しやすい場所、または
オンラインを選択できます。
港北区で初めて出産する
方が対象です。

出産準備プログラム

妊婦さんや先輩家庭のリアルな生活を
知ることができたり、産後に役立つヒント
をもらえます。
妊娠7～9か月頃の方、第一子の方も、
第二・三子の方も、ぜひ！！
保育園とのコラボ企画や、産前トークは
第二子以降の回もあります。

ひととき預かり

ひろばでの一時預かり。
いつもの場所での預かり
なので安心！
預かり時間の前後もひろば
で遊べます。

缶バッジ作成会

「ちょっと」手を貸してもらいたい・・・
「ちょっと」手伝ってあげたい！
みんなの「ちょっと」をつなぐ
缶バッジ活動。
「ちょっと」のお時間でお気軽
にご参加ください。

外国につながる みんなのティータイム

はなしをしたい。
ともだちがほしい。
にほんでくらすがいこくの
ひとはあそびにきてください！



どろっぴ



港北区地域子育て支援拠点どろっぴは、主に0歳から就学前の子ども・妊婦とご家族、地域で子育てを応援している方のための施設です。

<https://www.kohoku-drop.jp/> Check our website for the schedule in English

開館日時：火曜日～土曜日(隔月1回日曜開館あり) 9:30～16:00 祝日・年末年始・特別休館日あり



体験と育ちの保障 ～乳幼児とのふれあい体験授業を通して～

近隣中学校と協働実施している「乳幼児とのふれあい体験授業」についてですが、毎年中学2年生の家庭科の授業で行っていて、今年で8年目となります。1クラス約40名、学年全体で約300名の生徒数があるので、赤ちゃんを抱っこしたり触れ合ったりする時間と、乳幼児家庭から子育ての経験談を聞く時間とに分けて4日間に渡り実施しています。

体験後の生徒からは、「親になるって大変だと思った」「今度困っている親がいたら声をかけたい」「自分も愛情をもって育ててもらったと気づけた」等の感想があり、生徒自身の主体的な学びに繋がっていると感じています。赤ちゃんはかわいい、柔らかい等と感じて乳幼児に思いを馳せることで、あやしたり世話ができる自分自身の発見に繋がったり、その可能性を感じることから自己肯定感が育まれていく過程を場にいる私たちも体感させてもらっています。また、自分の成長に親や周囲の大人が関わってくれたことへの感謝の気持ちが生まれることで、親になるイメージや子育てを肯定的に捉えられる機会にも繋がっていると感じているため、これから産み育てる世代だからこそ、この体験を義務教育の中で全生徒が受けられることに大きな意味があると思っています。

子育て経験を話してくれた乳幼児家庭からも「自分の子育てを振り返る機会になった」「中学生のイメージが変わり、我が子の成長がとても楽しみになった」等の感想があり、乳幼児家庭にとっても自分の経験が役に立つという自己有用感があることや、地域の中でこどもの育つイメージが持てる安心感があり相乗効果に繋がっています。この取組は、近隣の親と子のつどいの広場や町内会、民生委員児童委員協議会、PTAなど、地域ぐるみで応援する輪が広がっている大事な活動でもあるので、この効果を学校や関わってくださっている皆さまとも共有する機会の創出とともに、蓄積されてきたエピソードを発信し、この取組自体を仕組みにしていけるよう、今後も普及啓発に努めていきたいと思っています。



昨年4月に発足したこども家庭庁が提唱している「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン～はじめの100か月の育ちビジョン～」の中で、『安心と挑戦の循環』を通してこどものウェルビーイング(人生の幸せな状態)を高める」と盛り込まれています。はじめの100か月とは妊娠期～小学1年生までの時期を指し、「こどもの誕生前」から切れ目なくすべてのこどもの育ちを支えていくというものです。こどもの育ちを保障していくうえでは、乳幼児期から多様な人との出会いやモノにふれる機会の創出や、「遊びと体験」を通して一人ひとりの想いや願いを感じ取り尊重しながら、『安心』して過ごせる基盤づくりとともに、こども自身の意志から生まれる『挑戦』を、親や家族以外の人とも見守り応援していける施設でありたいと思っています。また、支えられる側、支える側という方向での関係ではなく、双方向の関係性を創っていくことが、地域で暮らす実感やそれぞれの心のゆとりにも繋がっていくようにも感じています。これからも「子どもをまんなか」にした取組や活動等を通して、多世代との接点を多く創り、地域社会全体で応援できる環境づくりを目指して、少しでも寄与していければと思っています。

【どろっぴ施設長 田之畑 有美】



令和6年4月からひろばの入退館方法が変わりました！

今までの利用者カードが使えなくなり、横浜市地域子育て支援拠点サイト(<https://kosodatekyoten.city.yokohama.lg.jp/csm>)上での

- ①システムユーザー登録の手続き
 - ②利用登録の手続き
- が必要になります。



サイトへはコチラから

地域子育て支援拠点サイトでは、
 ☆地域子育て支援拠点のひろばの利用
 ☆イベント情報の発信・申込
 ☆横浜子育てサポートシステムの各種お手続き
 などができるようになりました！

横浜子育てサポートシステムの提供会員(預かる会員)希望の方は、随時入会説明会を行っていますのでお気軽にお問合せください。

ひろばを利用される方は、事前に利用登録を済ませておくスムーズに入館できます♪

※不明な点がありましたらどろっぴ・どろっぴサテライトまでお問合せください。



新横浜出張ひろば りぼん ～開設から1年が経ちました～

りぼんが始まって1年が経ち、遊びに来る親子にりぼんに来たきっかけを聞くと、子育てサロンや支援者の方からりぼんを紹介してもらいましたという方が多く、みなさんの温かい後押しがあったからこそつながることができたのだと本当に感謝しています！

利用者の中には、コロナ禍でなかなか他の親子と交流出来ずにいたという方や、新横浜地区に転入したばかりで地域のことがまだわからないと話す方など、地域とのつながりを持つ機会が少ない中で過ごしていた方が多いことを改めて感じています。りぼんには地域の支援者、ボランティアのみなさんも足を運んでくださり、一緒に遊んだり、ゆっくり話したり、絵本の読み聞かせや手遊び歌でお楽しみタイムを開いてくれるなど、いろいろな関わり方をしてくれるので、親子だけではなく、第三者とのつながりも感じられる時間が流れています。

自分たちは地域で温かく見守られていること、自分だけで頑張らず誰かに頼って子育てをしていいんだという感覚をりぼんで感じてもらえたらと思います。



地域には親子を温かく迎え入れてくれる方がたくさんいるので、私たちもたくさんのお出迎えのきっかけ作りをお手伝いできたらと思っています。ある日「りぼんを利用するようになって近所で知っている人に会うようになった」と嬉しそうに話してくれた利用者がいて、「ここに住んでよかったと思ってもらいたい」と話していた地域の方のことを思い出しました。小さな出来事ですが、そうやって1歩ずつ地域への愛着が深まっていくんだと、その場面に立ち会わせてもらっていることを嬉しく感じました。ここに住んでよかった…私もそんな風に皆さんに思ってもらえるように一人ひとりとの関わりを大切にしていきたいと思っています。

〈どろっぴに関わる情報発信〉

どろっぴLINE通信

メールでお送りしている「港北区子育て支援メールニュース」やどろっぴ、認定NPO法人びーのびーのから活動内容や取組みなどの近況をLINEで受け取れます！



子育て応援 ココアプリ 「岩崎学園情報科学専門学校」と「港北区役所」と「港北区地域子育て支援拠点どろっぴ」が共同開発。情報を受け取りやすく、より便利に！毎週お知らせを配信♪インストールはストアで「ココアプリ」で検索！



ココマップ 近場で楽しめる情報が盛りだくさん！クチコミ情報の投稿もできます。スマホでも見やすくなりましたので是非チェックしてみてください♪



港北区地域子育て支援拠点



どろっぴ
 港北区大倉山3-57-3
 TEL045-540-7420
 東急東横線大倉山駅徒歩10分
 または市営バス 41系統
 川向町行き「観音前」下車すぐ



横浜子育てサポートシステム 港北区支部事務局
 TEL045-547-6422(直通)
 大倉山どろっぴ 受付：火曜日～土曜日 9:00～17:00



どろっぴサテライト
 港北区綱島東3-1-7
 TEL045-633-1078
 東急東横線綱島駅
 北口徒歩10分
 東急新横浜線新綱島駅
 北口徒歩8分



港北区地域子育て支援拠点は、認定NPO法人びーのびーのが、横浜市港北区から受託して運営しています。